

原発性乳がんで術前化学療法を受けられた方へのお知らせ

京都大学医学部附属病院乳腺外科では他施設と共同で、診療情報を集めて分析し、術前化学療法による治療の効果を事前に予測する方法を開発する研究を行っております。

対象となる方

術前化学療法を既に受けられた方で、特定非営利活動法人 OOTR(<http://www.ootr-institute.org>) により行われた臨床試験(N003)に参加された方が対象となります。

研究で使用させていただく診療情報

下記の情報をカルテから収集させていただきます。

1. 診察（視触診）時の情報
2. マンモグラフィ・超音波などの検査に関する情報
3. 針生検の病理診断に関する情報
4. 術前化学療法の内容
5. 術前化学療法による治療効果
6. 手術での病理診断に関する情報

研究の概要

臨床情報を分析して、術前化学療法を受けることによってがんの消失する可能性を予測する新しいシステムを開発・評価する事を目的としております。

お名前・生年月日・住所などの個人情報に関わるデータは一切使用いたしませんので、対象者個人が特定されるような情報は一切公表されません。

*この研究は京都大学医学部医の倫理委員会の承認を得ております。

*説明を希望される方、あるいは診療情報の利用を望まれない方は本ホームページ(<http://www.brca.jp>)上の「問い合わせ(info@brca.jp)」からご連絡いただくか、担当医師にお申し出ください。

研究責任者：乳腺外科（教授） 戸井 雅和
研究分担者：乳腺外科（大学院生） 高田 正泰